

令和2年度若年技能者人材育成支援等事業 進捗状況報告

令和3年1月25日現在 大分県技能振興コーナー

1. 地域における技能振興事業		
(1) 技能五輪全国大会の予選の実施等		
	実施計画	進捗状況
	<p>ア 技能五輪全国大会の予選の実施</p> <p>大分県職業能力開発協会（以下「当協会」）が独自の選考基準にて推薦する職種について、当協会と共催で予選会を行います。</p> <p>関係する多くの企業や教育訓練機関等に対して、HP掲載や案内文書送付等の広報により予選会の開催を周知するとともに参加及び観覧の働きかけを行い、参加者の増加及び予選会の活性化と技能尊重気運の醸成等を図ります。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施予定職種：美容 ・実施予定時期：5月 ・参加予定人員：30名程度 ・全国大会への派遣：予選上位2名 	<p>○美容関係の訓練校や協会等に広く案内して選手の募集をしましたが、訓練校は<u>新型コロナウイルス感染の影響</u>で長期休校となったため参加できず、協会等からの参加者もなかったため、予選会は実施できませんでした。</p>
	<p>イ 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施</p> <p>中小企業や教育訓練機関等に所属する当該参加選手とその指導者の参加旅費と工具等の運搬費の援助を行い、大会参加を促進します。</p> <p>【参加支援】</p> <p>①技能五輪全国大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象職種：4職種 ・支援対象者数：選手6名程度、指導者6名程度 <p>②若年者ものづくり競技大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象職種：5職種 ・支援対象者数：選手10名程度、指導者10名程度 	<p>①技能五輪全国大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日：11月13日（金）～16日（月） ・会場：愛知県国際展示場 ・支援対象職種：1職種〔フラワー装飾〕 ・支援対象者数：選手2名、指導者2名 <p>②若年者ものづくり競技大会</p> <p><u>新型コロナウイルス感染の影響</u>で競技大会が中止されたため参加支援はできませんでした。</p>
(2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組み		
	<p>ア ものづくりマイスター、ITマスター及びそれ以外の熟練技能者の活用</p> <p>(ア) イベント</p> <p>一般県民に「ものづくり」の意義と、「ものづくり」を支える産業界での「技能者」の重要性やその「人材育成」等を積極的にアピールし、技能尊重気運の醸成を図ります。企業、各種団体、技能士会、関係行政・教育機関等とも連携し、HPやPRパンフレット、報道発表等により広く周知した上で下記のイベントを実施します。</p> <p>①「キッズワーク大分2020」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的：現在、若者のものづくり離れや技能離れが進み、技能尊重気運の醸成や若年技能者の人材確保・育成が重要な課題となっています。この背景には、子ども達がものづくりに触れる機会が少ないまま成長していくことも大きな要因となっていることから、小学生を対象に、職業の疑似体験を通して、働くことの大切さや意義、仕事の楽しさを経験し、自分の将来の職業について考える機会を与えることを目的とします。 ・テーマ：「未来のおしごとをみつけよう」 ・内容：製作実演を交えたものづくり体験を実施します。IT関係を含む18職種（造園・建築板金・ロープ加工・和裁・建具製作・菓子製造・建築大工・かわらぶき・左官・鉄筋施工・表装・塗装・自動車工・美容師・フラワー装飾・洋調理・日本調理・プログラミング）の協力を予定しています。 ・開催時期：7月末の2日間（金・土曜日） ・募集児童予定数：2日間で720人（事前予約） 一人2職種ずつ体験 ・一般集客予定人数：1000名程度（保護者・一般） 	<p>①「キッズワーク大分2020」の開催</p> <p><u>新型コロナウイルス感染</u>の収束が見えない、予定会場（大分イベントホール）内が3密の状態となる、参加児童や各職種団体の参加者への感染拡大が懸念される等の理由から、関係者で協議の結果中止としました。（5月11日）</p>

1. 地域における技能振興事業	
(2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組み	
実施計画	進捗状況
<p>②「技能体験コーナー（仮称）」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的：「キッズワーク大分 2020」に準じる ・主催：大分県、当協会、（一社）大分県技能士会連合会 ・内容：第 50 回大分県技能祭におけるイベントに協力（ブースの一つ）します。小学生を対象に製作実演を交えたものづくり体験を 10 職種程度予定しています。 ・開催時期：11 月中旬 1 日間 ・参加児童予定数：各職種先着 40 名、全体で 400 名程度（当日受付） ・一般集客予定人数：1,000 名程度 <p>(イ)ものづくりマイスター以外の熟練技能者の派遣</p> <p>①熟練技能者の派遣による実技指導</p> <p>ものづくりマイスター認定対象外職種やものづくりマイスターが不在の職種等について、中小企業等の若年技能者や工業高校等の生徒・学生を対象に、熟練技能者を派遣して実技指導を行い、高度な技能の習得を図ります。</p> <p>【熟練技能者の活動数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業、学校：50 件 ・受講者数：10 人/件 ・熟練技能者の活動数（延べ日数（人日）） 10 人×50 件＝<u>500 人日</u> <p>②「ものづくり体験教室」の開催</p> <p>地域の教育機関関係者からの要請に基づき、学校の授業等に熟練技能者を派遣し、「ものづくりの魅力」を発信する内容の体験教室を開催します。</p> <p>(3. (3)ア②「WAZA チャレンジ教室」と同時開催)</p> <p>【熟練技能者の活動数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校数：20 校 ・受講者数：15 人/校（1 校 1 学年） ・熟練技能者の活動数（延べ日数（人日）） 15 人×20 校＝<u>300 人日</u> 	<p>②「キッズワーク大分 2020 in 技能祭」の開催</p> <p>「キッズワーク大分 2020」に代わるイベントとして計画を拡充して実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：11 月 23 日（月）（勤労感謝の日） ・開催場所：大分いこいの道広場 B ・新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルに沿った運営 <ol style="list-style-type: none"> 1) 屋外にテント（ブース）を設置 2) ブース内で 1 m 以上の間隔を確保するため、参加児童数は一度に 8 人、講師（職種団体関係者）は 4 人以内に制限 3) 会場全体をフェンスで囲み、参加児童及び講師、運営委託業者、コーナー職員以外の入場を制限 4) 事前予約による参加児童の情報把握 5) 自己申告書による参加児童及び講師の 2 週間前からの健康状態の把握、当日の検温と健康チェックの実施 6) 会場内では全員マスク着用の徹底 7) 事前事後の手指消毒の徹底 8) 講師にはフェイスシールドとゴム手袋を配布、食品関係の参加児童はゴム手袋を着用 9) 道具（工具）・机・椅子等は参加児童入替時に消毒 ・内容：IT 関係を含む下記 20 職種団体の協力を得て実演を交えたものづくり体験を実施 造園・建築板金・和裁・建具製作・菓子製造・建築大工・かわらぶき・左官・表装・塗装・自動車整備・美容師・フラワー装飾・洋調理・プログラミング・広告美術仕上げ・印章彫刻・日本調理・石材施工・畳製作 ※新規 ・募集児童数：各職種 16 名 合計 320 人 ・応募人数 1,074 人（定員の 3.4 倍） ・参加人数 269 人（定員の 8.4 %） <p>◇別添 資料 2 参照</p> <p>①熟練技能者の派遣による実技指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>新型コロナウイルス感染の影響</u>で、前期技能検定が中止となったため、5～7 月に予定していたフラワー装飾の実技指導はほとんど中止されました。 ・後期技能検定の実施が決まってからは、<u>新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルに沿った対応</u>を申込者と講師に周知して実施しています。 <p>【熟練技能者の活動数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣件数：81 件〔昨年同期比 117%〕 フラワー装飾関係は倍増 32 件 → 61 件 その他は大幅減 37 件 → 20 件 ・熟練技能者の活動数（延べ日数（人日）） <u>389 人日</u>（1 月 25 日現在）〔昨年同期比 73%〕 <p>◇別添 資料 3 参照</p> <p>②「ものづくり体験教室」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルに沿った対応</u>を学校と講師に周知して実施しました。 <p>【熟練技能者の活動数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校数：15 校 ・ものづくりマイスター不在又はものづくりマイスターが参加できなかった職種で実施 ・熟練技能者の活動数（延べ日数（人日）） <u>235 人日</u> <p>◇別添 資料 4 参照</p>

1. 地域における技能振興事業	
(2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組み	
実施計画	進捗状況
<p>イ 技能競技大会展の実施 ブロックごとのイベントに際しては、中央技能振興センターや幹事県を始め九州各県コーナーと協力して取り組みます。</p>	<p>○<u>新型コロナウイルス感染の影響</u>で九州ブロックでは実施されませんでした。</p>
<p>ウ 技能士展の実施 ブロックごとのイベントに際しては、中央技能振興センターや幹事県を始め九州各県コーナーと協力して取り組みます。</p>	
<p>エ 「地域発！いいもの」 応援事業の実施 職種別技能士会や地域別技能士会等に対して、会議等で事業内容や募集要項等を説明するとともに文書等を送付します。 当協会及び当コーナーのHPに事業内容や募集要項等を掲載して広く周知します。 該当しそうな事例が判明した場合は、技能士会や地域の関係団体等と十分協議しながら、応募書類作成の援助と書類の受付・点検を行います。</p>	<p>○現在まで応募はありません。</p>
<p>オ グッドスキルマーク事業の実施 職種別技能士会や地域別技能士会等に対して、会議等で事業内容や募集要項等を説明するとともに文書等を送付します。 当協会及び当コーナーのHPに事業内容や募集要項等を掲載して広く周知します。 該当しそうな事例が判明した場合は、該当者と十分協議しながら、応募書類作成の援助と書類の受付・点検を行います。</p>	<p>○現在まで応募はありません。</p>
<p>カ 卓越した技能者（現代の名工）の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援 令和元年度の卓越した技能者の表彰の被表彰者（大分県関係者）の技能を紹介するためのコンテンツの作成支援を行います。 被表彰者のプロフィール、仕事に対する思い、これから入職する若者に伝えたいこと及び写真等について、中央技能振興センターが示す編集方針に沿って被表彰者に対して取材を行い、取材結果をセンターに提出します。</p>	<p>○平成30年度の被表彰者3名の取材は前年度に実施したので、これを取りまとめて提出しました。 ・伊藤静子（フラワー装飾師） ・井上泰志（機械修理工） ・西郷里公典（機械検査工）</p> <p>○令和元年度の被表彰者はいません。</p>

2. ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務																															
(1) ものづくりマイスター等の開拓																															
実施計画	進捗状況																														
<p>当コーナーのHP、中央技能振興センターや当コーナー発行のリーフレット、ものづくりマイスター事業を紹介する各種冊子等を活用した広報により、ものづくりマイスター制度の更なる周知に努め、該当者からの申請を促進します。</p> <p>企業・業界団体への訪問等により、ものづくりマイスター、ITマスター及びテックマイスター（以下「ものづくりマイスター等」という。）の候補者に係る情報収集等（掘り起こし）を行います。</p> <p>【重点的に掘り起こしを行う職種】</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくりマイスター関係 <ul style="list-style-type: none"> 電気溶接、電工、電気機器組立て 電子機器組立て ITマスター関係：グラフィックデザイン テックマイスター <p>【訪問計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関連する企業、専門学校や大学等の高等教育訓練機関、行政機関等をリストアップして、担当者1名が各月2件程度ずつ訪問します。 	<p>○企業289、職種団体56、教育訓練機関25にものづくりマイスター制度の事業案内文書を発送しました。</p> <p>【重点的に掘り起こしを行う職種】</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくりマイスター関係では電子機器組立ての申請者が1名ありました。 																														
(2) 申請書類の取りまとめ																															
<p>申請書類の内容を十分確認し、取りまとめて認定機関への取次等を行います。</p> <p>【認定数】（目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくりマイスター 15人以上 ITマスター 1人以上 テックマイスター 1人以上 	<p>○1～4回の申請は円滑に行うことができ、申請者は全員認定されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくりマイスター認定者（1～4回） <table border="1"> <thead> <tr> <th>認定職種</th> <th>人数</th> <th>認定職種</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建具製作</td> <td>1</td> <td>機械加工</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>塗装</td> <td>1</td> <td>機械検査</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>かわらぶき</td> <td>2</td> <td>電子機器組立て</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>建築大工</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>2</td> <td>合計</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>累積 認定職種：46職種／111職種 認定実人数：259人 認定延べ人数：289人</p> <ul style="list-style-type: none"> ITマスター認定者 <table border="1"> <thead> <tr> <th>認定職種</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オフィスソフトウェア・ソリューション</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ロボットソフト組込</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>累積 認定実人数：3人 認定延べ人数：8人</p> <ul style="list-style-type: none"> テックマイスターの新規認定者はいません。 <p>○第5回の申請結果は、2月中に判明する予定です。</p>	認定職種	人数	認定職種	人数	建具製作	1	機械加工	1	塗装	1	機械検査	1	かわらぶき	2	電子機器組立て	1	建築大工	1			配管	2	合計	10	認定職種	人数	オフィスソフトウェア・ソリューション	1	ロボットソフト組込	1
認定職種	人数	認定職種	人数																												
建具製作	1	機械加工	1																												
塗装	1	機械検査	1																												
かわらぶき	2	電子機器組立て	1																												
建築大工	1																														
配管	2	合計	10																												
認定職種	人数																														
オフィスソフトウェア・ソリューション	1																														
ロボットソフト組込	1																														
(3) ものづくりマイスター等への説明																															
<p>認定を受けたものづくりマイスター等には、指導技法の習得・向上のため、原則として実技指導等を始める前に指導技法等講習を受講する必要がある旨を周知します。</p> <p>過去に活動実績のないものづくりマイスター等には、改めて指導技法等講習の再受講を勧めるとともに最新版のテキストや事例集等の情報提供を行うなどにより活動の意欲を喚起します。</p>	<p>○新規認定者全員及び過年度認定者の中の要受講者に対し、指導技法等講習の案内をしました。</p> <p>○過去に活動実績のないものづくりマイスター等に対しては、第2回講習終了後に最新版のテキストや事例集等の情報提供を行う予定です。</p>																														
(4) ものづくりマイスター等に対する研修																															
<p>ア 指導技法等講習の実施</p> <p>【開催時期】第2四半期と第4四半期（年間2回）</p> <p>【講習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくりマイスター制度の趣旨及び実技指導やものづくりの魅力発信等の事業の重要性 実技指導の結果報告を含む「指導技法等」 個人情報保護、ハラスメント等の防止 若年者・学生との接遇等の知識 実技指導派遣依頼元の意見等 	<p>○指導技法等講習の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回目</td> <td>9月25日</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>2回目</td> <td>2月（予定）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		開催日	受講者数	1回目	9月25日	3	2回目	2月（予定）																						
	開催日	受講者数																													
1回目	9月25日	3																													
2回目	2月（予定）																														
<p>イ ものづくりマイスター等の職種別事例発表・意見交換</p> <p>該当のものづくりマイスターに情報提供して積極的な参加を呼びかけ、指導技法の改善や自己の資質向上を促します。</p>	<p>○大阪（12月）と東京（1月）で開催予定の案内がありましたが、<u>新型コロナウイルス感染の影響</u>で書類送付方式に変更されました。</p> <p>関係職種（機械検査・電子機器組立て・建築大工）のものづくりマイスターには関係書類を送付予定です。</p>																														

3. ものづくりマイスター等の活用に係る業務	
(1) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助等	
実施計画	進捗状況
<p>ア 相談・援助活動の実施</p> <p>(ア) ものづくりマイスター等の認定、登録に関する相談・援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有資格者に対しては申請を積極的に働きかけます。 ・申請者の負担を軽減できるよう書類作成におけるアドバイス、申請書類の内容確認等の援助を行います。 <p>(イ) ものづくりマイスター等の効果的な派遣に向けた相談・援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業・業界団体、学校等に対して、技能検定の受検者や技能競技大会に出場する選手がいることが判明した場合は、実技指導を実施するよう働きかけます。 ・企業・業界団体、学校等から実技指導の要請があった場合には、希望する職種やその具体的な指導内容を確認して、最適なものづくりマイスター等を派遣できるよう調整します。 ・実技指導を実施するにあたり適当な実施場所を希望する場合には、低価な使用料で借用できる公共施設（大分職業訓練センター等）を当コーナーが斡旋します。 ・当コーナー職員が実技指導要請者や受講者から直接感想や意見を聞くとともに、実技指導のアンケート調査結果を確認して、ニーズに合った指導ができたかを確認して以後の要請に的確に対応できるようにします。 ・当コーナー職員が指導者（ものづくりマイスター等）から直接活動内容を聞くとともに、活動報告書の内容を確認して、より効果的な実技指導ができるよう指導者に助言します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○有資格者の認定申請について業界団体等を通じて積極的な働きかけを行いました。 ○申請書類作成のアドバイスや申請書類の内容確認等により、申請者全員の認定に至りました。 ○技能検定課と協力して、技能向上等に向けた実技指導の実施を企業・業界団体、学校等に働きかけました。 ○企業や業界団体、工業高校等からの実技指導に係る問い合わせ等に対しては迅速に対応し、依頼者の希望に沿うコーディネートに努めました。 ○実技指導の現場にコーディネーターが1度は視察に向き、指導状況を確認するとともに要請者や受講者の意見を聞きました。また、アンケートの回答内容も確認しました。 ○ものづくりマイスター等から提出された活動報告書の記載内容を確認して、必要に応じて要請者や受講者に伝達して改善を求めました。
<p>イ 技能振興制度のPR事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当協会及び当コーナーのHPに技能振興制度の案内を掲載します。 ・当コーナー独自の事業紹介リーフレットを作成します。 ・当協会広報誌に事業紹介及び事業実施状況等を掲載します。 ・3級技能検定の資格付与について、企業や業界団体、教育機関等に案内します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業内容の広報 <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業や職種団体等には事業内容の案内を行い、積極的な活用を依頼しました。 ・工業高校等には事業内容及び3級技能検定の資格付与の案内をしました。 ・パンフレットの内容を一部改訂して1,000部印刷する予定です。(3月) ○HP掲載・更新 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜内容を更新し、できるだけ新しい情報を提供しています。
(2) ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施	
<p>ア ものづくりマイスター等の派遣対象及び指導内容等</p> <p>訓練指導のニーズに応じた実技指導が行えるように最適なものづくりマイスター等を選定して派遣します。</p> <p>実技指導の実施場所と対象職種のものづくりマイスター等の住所を勘案しながら、実技指導の未経験者にも積極的に依頼して、活動率の向上を図ります。</p> <p>(ア) 中小企業や業界団体等への派遣計画</p> <p>中小企業・業界団体等からの要請に対して、関係者と連携しながらコーディネートを行い、最適のものづくりマイスター等の派遣に努めます。</p> <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能競技大会競技課題・技能検定試験問題をベースにした実技指導（指導レベルは技能検定2～3級程度） ・実技に係る知識及び作業環境の整備についての助言 ・その他中小企業や団体等が独自に行う技能向上に向けた実技指導 ・生産性・品質向上、人材育成方法、労働安全衛生法を含む労働環境の改善に向けた助言等 <p>【派遣増加の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業に対しては、大分県中小企業団体中央会の協力を得てものづくりマイスター制度の周知を図るとともに実技指導の積極的な実施について年間を通じて働きかけます。 ・技能検定3級の受検資格付与についても併せて周知します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○派遣申込み及び実技指導実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・<u>新型コロナウイルス感染の影響</u>や前期技能検定の中止等により、実技指導を自粛する傾向がありました。また、コーナーから積極的な実施を働きかけることも控えざるを得ませんでした。 ・後期技能検定の実施が決まってから申込み件数は増加傾向にあります。 ・9月以後は、<u>新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルに沿った対応</u>を申込者と講師に周知して実施しました。

3. ものづくりマイスター等の活用に係る業務	
(2) ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施	
実施計画	進捗状況
<p>【ものづくりマイスターの活動数】(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣件数：延べ50件 ・派遣期間：4日 ・受講者数：4人/件 ・ものづくりマイスターの活動数(延べ日数(人日)) 4人×50件×4日=<u>800人日以上</u>(※a) <p>(イ) 工業高校等学校(公共職業能力開発施設を除く)への派遣計画</p> <p>学校からの要請に対して、関係者と連携しながらコーディネートを行い、最適のものづくりマイスター等の派遣に努めます。</p> <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能競技大会競技課題・技能検定試験問題をベースにした実技指導(指導レベルは技能検定3級程度) 機械系(機械加工・機械保全・電気溶接等) 電気系(電気機器組立て・電子機器組立て等) 建築系(建築大工・建築配管等) ・実技に係る知識及び作業環境の整備についての助言 <p>【派遣増加の方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県教育委員会や大分県高等学校教育研究会工業部会の協力を得て、関係校に対してものづくりマイスター制度の周知を図るとともに実技指導を積極的に計画するよう年間を通じて働きかけます。 <p>【ものづくりマイスターの活動数】(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣件数：延べ50件 ・派遣期間：4日 ・受講者数：4人/件 ・ものづくりマイスターの活動数(延べ日数(人日)) 4人×50件×4日=<u>800人日以上</u>(※b) <p>(ウ) 中小企業・業界団体、工業高校等へのITマスターの派遣計画</p> <p>ITリテラシーの強化やIT人材の育成に向けて、情報技術を有効に活用できる能力を付与するため、必要に応じて相談・援助を行うとともに、ニーズに応じた実技指導を行います。</p> <p>【ITマスターの活動数】(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣件数：2件 ・派遣期間：1日 ・受講者数：40人/件 ・ITマスターの活動数(延べ日数(人日)) 40人×2件×1日=<u>80人日以上</u>(※c) <p>(エ) 実技指導の記録、評価等</p> <p>ものづくりマイスター等が受講者に対する評価の場を設けるよう実技指導要請者に依頼します。</p> <p>ものづくりマイスター等が実技指導による技能レベルの向上の度合い等の成果、今後の課題等を受講生に伝え実技指導の充実を図るよう指導、助言します。</p> <p>実技指導の活動報告書は期限内に当コーナーに提出するようものづくりマイスター等に要請します。</p> <p>ものづくりマイスター等及び実技指導要請者双方の要望等を把握し、双方にアドバイスや助言を行い、次の指導の充実を図ります。</p>	<p>【ものづくりマイスターの活動数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣件数：83件〔昨年同期比93%〕 ・ものづくりマイスターの活動数(延べ日数(人日)) <u>376人日</u>(※a')〔昨年同期比67%〕 <p>◇別添 資料5 参照</p> <p>○派遣申込み及び実技指導実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>新型コロナウイルス感染の影響</u>による休校、ものづくりコンテストや前期技能検定中止等により、実技指導の要請は予想を大きく下回りました。また、コーナーから積極的な実施を働きかけることも控えざるを得ませんでした。 ・後期技能検定の実施が決まってから申込み件数はやや増加しています。 ・9月以後は、<u>新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルに沿った対応</u>を申込者と講師に周知して実施しました。 <p>【ものづくりマイスターの活動数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣件数：36件〔昨年同期比52%〕 ・ものづくりマイスターの活動数(延べ日数(人日)) <u>261人日</u>(※b')〔昨年同期比51%〕 <p>◇別添 資料6 参照</p> <p>○実技指導の要請はありませんでした。</p> <p>○実技指導後に提出する活動報告書の記載は、到達度評価に基づく指導後の技能レベルの向上の度合いとその後の課題等が明確になるようものづくりマイスター等に依頼しました。</p> <p>○実技指導の視察や活動報告の記載内容を基に、実技指導要請者や受講者に改善を求める必要があると認められた場合は、関係者と適宜協議を行いました。</p>

3. ものづくりマイスター等の活用に係る業務	
(3) 「目指せマイスター」プロジェクト	
実施計画	進捗状況
<p>ア 「ものづくりの魅力」発信 若者のものづくりに関する理解を深めるとともに、将来、若者自らがものづくり現場での就業等を実現できるよう、また、教師や保護者等がものづくり現場での就業等を支援しやすいよう、ものづくりマイスター等を活用した以下の事業を行います。</p> <p>(ア) 小学校の教師・保護者(P T A)を対象とした「ものづくりの魅力」講座へのものづくりマイスターの派遣計画 小学校からの要請に基づき、教師や保護者等がものづくり現場での就業等を希望する児童・生徒を支援しやすいよう、下記(イ)を実施する前にその内容をものづくりマイスターが説明するものとして実施します。</p> <p>【ものづくりマイスターの活動数】 ・学校数：25校 ・受講者数：教師・保護者 3人程度 ・ものづくりマイスター派遣人数：4人/校 ・ものづくりマイスターの活動数(延べ日数(人日)) 3人×25校×4人=<u>300人日以上</u>(※d)</p> <p>(イ) 小学生(高学年)を対象とした学校の授業等での「ものづくりの魅力」講座(WAZAチャレンジ教室)へのものづくりマイスターの派遣計画 小学校からの要請に基づき、学校の授業等にもものづくりマイスターを派遣し、「ものづくりの魅力」を発信する内容の体験教室を実施します。 なお、この際できるだけ保護者(P T A)の参加も要請します。</p> <p>【ものづくりマイスターの活動数】 ・学校数：25校 ・受講者数：30人/校 ・ものづくりマイスターの活動数(延べ日数(人日)) 30人×25校=<u>750人日以上</u>(※e)</p> <p>(ウ) 小中学校の児童・生徒を対象にしたものづくりマイスターが働く事業所・訓練施設等の見学の実施計画 小・中学校からの要請に基づき、移動用バスを借り上げて、ものづくりマイスターの講義等を併せて実施します。</p> <p>【ものづくりマイスターの活動数】 ・学校数：15校 ・受講者数：30人/校 ・ものづくりマイスターの活動数(延べ日数(人日)) 30人×15校=<u>450人日以上</u>(※f)</p>	<p>○小学校だけでなく初めて高校からの申込みが1件ありました。 ・<u>新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルに沿った対応</u>を学校と講師に周知して実施しました。</p> <p>【ものづくりマイスターの活動数】 ・学校数：21校 ・ものづくりマイスターの活動数(延べ日数(人日)) <u>365人日</u>(※d')</p> <p>◇別添 資料7 参照</p> <p>○<u>新型コロナウイルス感染の影響</u>で実施直前に1校辞退しましたが、その他は全て実施できました。 ・<u>新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルに沿った対応</u>を学校と講師に周知して実施しました。</p> <p>【ものづくりマイスターの活動数】 ・学校数：22校 ・ものづくりマイスターの活動数(延べ日数(人日)) <u>658人日</u>(※e')</p> <p>◇別添 資料8 参照</p> <p>○<u>新型コロナウイルス感染の影響</u>で9月以後6事業所が受入れ中止となったので、計画変更等を提案しましたが、13校が実施を取り止めました。 ・<u>新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルに沿った対応</u>を学校とバス会社に周知して実施しました。</p> <p>【ものづくりマイスターの活動数】 ・学校数：6校 ・ものづくりマイスターの活動数(延べ日数(人日)) <u>142人日</u>(※f')</p> <p>◇別添 資料9 参照</p>
<p>イ 「ITの魅力」発信 (ア) 小中学校の児童生徒を対象にした「ITの魅力発信」へのITマスターの派遣計画 小・中学校からの要請に基づき、学校の授業等にITマスターを派遣し、情報技術に関する興味を喚起するとともに、情報技術を使いこなす職業能力の付与が実現できるよう、規定の教材を用いた講義を実施します。</p> <p>【ITマスターの活動数】 ・学校数：6校 ・受講者数：25人/校 ・ITマスターの活動数(延べ日数(人日)) 25人×6校=<u>150人日以上</u>(※g)</p>	<p>○小学生向けロボットプログラミング教材に「ビュートレーサー」を使用することをITマスターと協議して決定し、7月に日出町・杵築市・国東市の教育委員会を通じて実施校を決定しました。 ・<u>新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルに沿った対応</u>を学校と講師に周知して実施しました。</p> <p>【ITマスターの活動数】 ・学校数：6校 ・ITマスターの活動数(延べ日数(人日)) <u>172人日</u>(※g')</p> <p>◇別添 資料10 参照</p>
<p>ウ その他、若者に対する「ものづくりの魅力」発信 地域サポートステーションからの協力要請があった場合には、サポステの支援対象者に対してものづくりマイスター等を派遣し、ものづくり体験等を行います。</p>	<p>○要請はありませんでした。</p>

3. ものづくりマイスター等の活用に係る業務	
(3) 目指せマイスタープロジェクト	
実施計画	進捗状況
<p>エ ものづくりマイスターの働く職場での職場体験実習</p> <p>中学生を対象に、ものづくりマイスター（一人親方や自営の事業主）の働く職場ならではのものづくり体験の実施を含む職場体験実習を実施します。</p> <p>【ものづくりマイスターの活動数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所：1ヶ所 ・期間：2日間 ・実習生：5人以上 ・ものづくりマイスターの活動数（延べ日数（人日）） 5人×2日＝<u>10人日以上</u>（※h） 	<p>○<u>新型コロナウイルス感染の影響</u>で実施できませんでした。</p>

4. 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営		
	実施計画	進捗状況
	<p>ア 連携会議の設置 大分県・経済団体・労働局等をメンバーとした当コーナー主催の連携会議を設置し、構成委員の意見を取り入れ、推進計画や実施計画の策定、地域の産業特性や就業構造を踏まえた技能振興の取組や事業実施に当たっての連携・協力の在り方の検討、並びに事業の進捗管理を行います。</p> <p>【連携会議構成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県中小企業団体中央会 ・(一社) 大分県技能士会連合会 ・大分労働局職業安定部訓練室 ・(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構大分支部 大分職業能力開発促進センター ・大分県教育庁高校教育課 ・大分県教育庁義務教育課 ・大分県高等学校教育研究会工業部会 ・大分県商工労働部雇用労働政策課 ・大分県職業能力開発協会 ・大分県技能振興コーナー 	<p>○各関係機関のご理解とご協力により計画どおり連携会議を設置しました。</p>
	<p>イ 連携会議の開催回数 原則として年間2回開催します。 議題は次のとおりです。</p> <p>【第1回連携会議 6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業概要と実施実施上の連携・協力について ・令和2年度事業の実施計画と進捗状況について <p>【第2回連携会議 1月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業の進捗状況と事業実施上の課題等について ・令和3年度事業の推進計画について 	<p>○第1回連携会議 6月26日(金) 15:00～ 実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業概要と実施実施上の連携・協力について ・令和2年度事業の実施計画と進捗状況について <p>○第2回連携会議 1月25日(月) 15:00～ 実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業の進捗状況と事業実施上の課題等について ・令和3年度事業の推進計画について
5. 全国斉一的な事業展開		
	実施計画	進捗状況
	<p>ア 全国会議やブロック会議等への参加 中央技能振興センターが主催する全国会議や九州ブロック会議にはコーナー長とコーディネーターが参加するとともに、適宜連絡を取るなど密接な連携を図りながら、厚生労働省や中央技能振興センターから本事業の円滑な業務遂行に関する指導や助言を仰ぎ、全国斉一的な事業展開ができるように対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国会議(4月1日間 東京都内) ・九州ブロック会議(第3四半期 1日間 福岡県) ・センターとの連絡調整(年1回 1日 東京都内) 	<p>○全国会議及び九州ブロック会議は、<u>新型コロナウイルス感染の影響</u>で書類送付方式に変更されました。</p> <p>○連絡調整に係る会議は現在までありません。</p>
	<p>イ 地域に対するサービス提供の方法 本事業は以下が行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県職業能力開発協会 大分県地域技能振興コーナー 〒870-1141 大分市大字下宗方字古川 1035-1 TEL: 097-542-6441 FAX: 097-542-6451 <p>大分県職業能力開発協会は昭和54年設立以来、技能検定試験の実施、各種技能競技大会の選手選考・派遣等とおして「ものづくり」を中核とした人材育成等に関する豊富な知識、ノウハウ等を蓄積するとともに多方面にわたるネットワークを構築しており、これらを活用して本事業を効果的・効率的に実施します。</p>	<p>○計画どおり実施しました。</p>
	<p>ウ 事務所の体制 大分県職業能力開発協会の事務所内に大分県技能振興コーナーを設置し、「若年技能者人材育成支援等事業会計」を設けて経理処理を行います。</p> <p>コーナー長・コーディネーター兼事務責任者・事務員を中心に、大分県職業能力開発協会の技能検定課課長補佐、総務課課長補佐、技能検定課技能検定推進員等と協力して事業の遂行に努めます。</p>	<p>○計画どおり実施しました。</p>

6. 成果目標と活動目標	
<p>ア 成果目標</p> <p>【目標の設定】</p> <p>①ものづくりマスターの実技指導を利用した企業・業界団体又は教育訓練機関の満足度…90%以上</p> <p>②ものづくりマスターの実技指導の内容を理解し、今後活かせるとした受講生の割合…90%以上</p> <p>③ものづくりマスターの授業等への講師派遣を利用した学校の満足度…90%以上</p> <p>④ものづくりマスターを活用した企業又は業界団体が技能検定又は技能競技大会を人材育成に活用する契機となった割合…90%以上</p> <p>⑤地域における技能振興事業の参加者の満足度…90%以上</p> <p>【目標達成のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要請のニーズに応じた最適のものづくりマスター等を派遣することに努めます。 ・実技指導や授業の受講者及び担当者の意見・感想、イベント等の参加者の意見・感想、指導したものづくりマスター等の意見・感想を把握して、より効果的なものとなるよう関係者に適宜指導、助言をします。 	<p>①企業・業界団体又は教育訓練機関の満足度 【100%】</p> <p>②内容を理解し、今後活かせるとした受講生の割合 【100%】</p> <p>③授業等への講師派遣を利用した学校の満足度 ・WAZAチャレンジ教室、事業所等見学、「ITの魅力」発信 【100%】</p> <p>④人材育成に活用する契機となった割合 【89%】</p> <p>⑤地域における技能振興事業の参加者の満足度 ・キッズワーカー2020 in 技能祭、熟練技能者の派遣による実技指導 【100%】</p> <p>○関係者のご理解とご協力により、ニーズに応じた最適のものづくりマスター等の派遣ができました。</p> <p>○関係者への指導や助言を適宜行いました。</p>
<p>イ 活動目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりマスターの活動数（延べ日数（人日）） <u>3,340人日</u>（※a～hの合計） <p>【目標達成のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各月ごと、四半期ごとに活動目標数を設定して目標管理に努めます。 ・ものづくりマスター等の派遣による実技指導については、中小企業や業界団体、工業高校等に対して繰り返し依頼します。 ・「目指せマスタープロジェクト」に係る事業案内をできるだけ早期に行なって事業の周知を図り、学校行事計画に組み込めるようにします。 	<p>○ものづくりマスターの活動数（延べ日数（人日）） <u>1,974人日</u>（※a'～h'の合計） 【達成率59%】</p> <p>○新型コロナウイルス感染の影響で実技指導の計画を控えたり実施を取り止めたりする事例が多数あり、積極的な実施依頼の呼びかけはできませんでした。</p> <p>○「目指せマスタープロジェクト」（「WAZAチャレンジ教室」と「事業所等見学」）の事業案内は、前年度の2月にすべての該当校に発送して周知を図りました。</p>

※大分県技能振興コーナーの規模別ランクはD（S・A～Eの順）

Dランクでは、「ものづくりマスター活動数」は3,332人日以上と定められています。